| 科目名 | 精神看護学概論 | 対象学年・時期 | 1年・後期 |
|---|---|---|---|
| 講師 | 非常勤講師・専任教員 | 単位数・時間数 | 1単位・15時間 |
| 講義概要 | ディプロマポリシー３，４に基づく。「精神看護学」が独立した科目立てになったのは1996年の指定規則改定以来であるが精神保健・看護のニーズは年々高まっており重要視されてきている。精神看護学全体の概観から捉えると、これからの精神看護学は精神保健学と精神看護学の二本立てが必要であり、さらに精神障害者福祉の理解が重要である。<br>まずは、病気のことを知るのではなく、人間理解を土台として理解する必要がある。特に精神領域においては、障害との付き合い方のみならず、生涯、社会生活の中での生きづらさや不自由さを抱えて生きるという健康観（障害観）を考える重要な機会となる。また、人間の生の営みという視点から、誰にでも起こり得る出来事として捉えてほしい。その上でこころの機能と構造・健康レベルを理解し、こころの健康の回復・保持・増進に必要な基礎的知識と技術を習得してほしい。さらに、精神の健康を支える精神保健と精神障害者の生活を支える精神障害者福祉を統合した精神保健福祉活動の概観を捉えてほしい。 | | |
| 講義形態 | 講義・個人ワーク | | |
| 学習目標 | １、精神看護の対象が理解できる<br>２、精神の構造と機能が理解できる<br>3、こころの発達と健康が理解できる<br>4、精神看護の基盤となる理論が理解できる<br>5、発達段階や生活の場における危機について理解できる<br>6、精神保健福祉の歴史について理解できる<br>7、地域保健活動について理解できる | | |
| 学習内容<br>(授業計画) | １回目：ガイダンス　精神看護の対象とは<br>２．精神障害のとらえ方、障害のとらえ方から<br>３．精神の機能と構造<br>４．精神看護における諸理論<br>５．現代社会における危機<br>６．看護の対象としての家族<br>７，精神保健福祉と看護の歴史的変遷<br>８．精神保健福祉をめぐる法律<br>終講試験（45分） | 事前学習：国民衛生の動向「保健と医療の動向」内の「保健対策」内の精神保健<br>事前学習：教科書P14～28<br>事前学習：教科書①P30～50<br>事前学習：教科書①P54～62<br>事前学習：教科書①P66～101<br>事前学習：教科書①P104～121<br>事前学習：教科書①P148～168<br>事前学習：教科書①P170～188 | |
| 使用テキスト | ナーシンググラフィカ精神看護学①情緒発達と精神看護の基本<br>②精神障害と看護の実践　メディカ出版<br>国民衛生の動向　　厚生労働統計協会 | | |
| 事前学習・事後学習（学習を促進できる学修） | 事前学習を基本とし授業計画に示した箇所を読んでおく。また、随時資料を提示する。 | | |
| 評価基準と評価方法 | 筆記試験で評価する | | |
| 備考 | | | |